

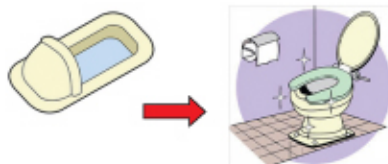
平成27年度第2回定例区議会 開催 区議会議員伊藤よしのり代表質問詳細

6月11日（木）より平成27年度第2回定例区議会が開催されました。11日の初日に自民党議員団を代表し一般質問を行いました。日頃地域を回り区民の皆様からご要望頂いていることをもとに、区長並びに関係部長に対し質問及び要望を致しました。

◎ 伊藤よしのり代表質問

学校施設の整備計画についてお伺い致します。

本区の区立小中学校については、現存する校舎の多くが昭和30年代から40年代に建築されたもので、周知のとおり老朽化が進んでいるため、耐震化の面や防災の面でも対応や検討を積極的に行っているところだと思います。今後、必要となる大規模な改修や改築については、区にとって大きな財政的負担を伴うため、将来を見据えて、計画的な対応をしなければなりません。



一方で、学校施設の中には、経年劣化や実際の児童・生徒の使用に当たり、支障がでているものもあると聞いています。特に校庭や学校トイレの整備についての要望も多くあると思います。

そこで、これら校庭・学校トイレの整備方針について伺います。

1. 校庭整備についてですが、校庭整備の優先順位はどのように決めているのか。また降雨後の水たまりや凹凸がある場合、直近の整備年次が新しければ校庭整備はできないのか？伺いたいと思います。
2. 校庭やトイレを安全に、快適に使ってもらうために、今後の改築や大規模改修にも配慮しつつ、整備方法や整備規模などを検討していくと思いますが、実際の使用状況や教育活動、児童生徒の生活への支障の有無などを総合的に判断して、必要なものは行っていくべきだと思いますが区の考えを伺います。



◎ 区の答弁

「かつしか教育プラン2014」では、「基本方針3 子供がいきいき学ぶ、教育環境づくりを推進します」の施策の一つとして、「毎日行きたくなる魅力ある学校づくり」を位置付けており、「安全で良好な学校環境の整備」に取り組んでいるところでございます。この中で、児童・生徒が安全・良好な環境で過ごすことができるよう、計画的な学校改築を進めることと、既存の学校施設についても、必要な整備を実施し、適切な維持管理に努めることとしております。ご質問にあります、校庭整備やトイレ改修を適時適切に行っていくことは、良好な学校環境を実現するための重要な事業であると認識しております。

まず、校庭整備の優先順位はどのように決めているのか、とのご質問にお答えいたします。

校庭整備につきましては、毎年、各学校からの施設改修要望を受けて、担当職員が現地を調査し、校庭の傷み具合や直近の改修年度などを考慮して、翌年度の校庭整備の優先度を決めております。

また、お尋ねの直近の整備年次が新しい学校の校庭につきましては、授業などの教育活動に加え、部活動、施設開放などでの使用状況によっては、傷みが早く進行することがございます。そのため、降雨後の水たまりや校庭面の凹凸など、実際の校庭使用の支障の有無を調査して、その結果によっては、改修年度の新旧によらず、優先して改修を行う場合もございます。今後も、児童・生徒の安全を第一に考慮して、整備の優先順位を検討してまいります。

次に、学校施設の整備についてのご質問にお答えいたします。

先ほども触れましたが、かつしか教育プラン2014にもありますとおり、計画的に学校改築を推進する一方、改築には長期の期間を要するため、既存の学校施設については、**必要な整備を実施し、適切な維持管理に努めてまいります。**

ご質問にあります通り、改修要望があった場合は、実態をしっかりと調査し、実際の使用状況や教育活動、児童生徒の生活への支障の有無などを総合的に判断して、必要な整備は行っていくことで、安全・安心な教育環境を整えてまいりたいと考えております。

